

平成 28 年度第 2 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 28 年 10 月 15 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2 階 大会議室

出席者 委員 24 名中 18 名出席
千葉市保健福祉局地域福祉課 2 名、事務局 7 名（緑保健福祉センター長、
高齢障害支援課 3 人、社協緑区事務所 3 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 議題
 - （1）平成 28 年度 緑区支え合いのまち推進計画 進捗状況について
 - （2）広報誌「みどりのきずな第 29 号」の承認について
- 3 グループワーク
- 4 連絡事項
- 5 閉会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）平成 28 年度 緑区支え合いのまち推進計画 進捗状況について

主な発言内容は以下のとおり。

各地区部会エリアにおける計画進捗状況についての説明

（おゆみ野地区部会・中村委員）おゆみ野地区の活動報告をする。高齢者の集い、コミュニケーションとしてふれあい散歩を取り上げている。10月3日に今年度第2回のふれあい散歩を実施した。天気は悪かったが、ボランティアも含めて45名の方が参加してくれた。おゆみ野の遊歩道を使い、6キロと2キロのコースを用意していた。おしゃべりをしながら楽しく過ごせた。万が一に備えて車いすも用意した。次回は当初の予定を変更し12月13日に実施する。あんしんケアセンターなどにも協力してもらい、散歩前に問診、散歩後の整理体操をして安全に実施している。

（椎名地区部会・本田委員）椎名地区の報告と計画について説明する。子どもと地域住民の交流に力を入れている。ふれあい交流会として子どもと高齢者の食事会を10月20日と11月17日に実施する。食育として米の脱穀を9月7日に実施した。また福祉体験授業として車いすバスケットの選手を招いて12月16日に椎名小学校で実施する。高齢者の見守り活動としては、古市場団地で継続している。8月28日に子ども達と一緒にエコキャップについて勉強し自分たちでもできるボランティア活動につ

いて理解を深めた。

- (土気地区部会・茂田委員) 土気地区の報告と計画について説明する。今年度は見守り活動を町内会で拡大していくことを目標にしている。大椎台とあすみが丘の2つの町内自治会で取り組んでいる。今回のみどりのきずなにも特集されている。今年度当初に高津戸町内会でもという声があった。実態を調べると隣近所での活動で十分に見守り活動できているという結論が出た。ただしこれからもっと高齢者が増えた場合は、システムとして見守り活動を進めたいという声があった。サロン活動の拡充については、参加者が固定化してきているのでチラシを作って広くPRしていくことも考えている。
- (誉田地区部会・大槻委員) 誉田地区の報告と計画について鳥山部会長代わりに説明する。添付の報告書通りだが、平成28年度に辺田町内会が立ち上がっている。また誉田2丁目町内会が10月22日に民生委員と地区部会とで会合を予定している。誉田3丁目では、コスモ誉田では見守り隊ということで、要支援者名簿を市から貰うところまでは進んでいる。また誉田地区では、地域運営委員会を進めている。その中でウォーキングをテーマにしている。
- (中村和委員) ふれあい福祉フェスティバルを10月22日・23日に土気駅前のあすみが丘バースモールで行う。是非参加して欲しい。
- (石本委員) 10月5日に511地区民児協がときわ園に施設見学に来た。高齢者の昼食を食べてもらい、居室の見学もした。10月22日には505地区の民児協も見学に来る予定である。福祉施設の現状を見学してもらう機会を提供している。別の地区の民児協にも要請があれば答えない。
- (押元委員) あんしんケアセンター誉田では、誉田地区自治会区域ごとに個別訪問している。北浦民生委員の協力で個別訪問している。実際団地に出向いて行くと対象者の3分の1しか会えないが直接訪問して声を聞いている。
- (池田委員) あんしんケアセンター鎌取では、地域のふれあい散歩やサロンに参加して地域の声を聞くようにしている。
- (布施委員) あんしんケアセンター土気では、地域の活動団体との連携に力を入れている。民児協や連協会議に参加し、サロンにも参加している。センターの周知もさせてもらっている。高齢者がよくスーパーマーケットに訪問し高齢者に関する意見交換を店員と進めている。地域課題を解決に向けての支援をしていきたい。
- (小林委員) 施設の活動について報告したい。最近では市外の民生委員が視察に来ている。また障害関係では最近2つの大きな出来事があった。1つは7月の相模原での殺傷事件である。大きなショックだった。障害者はいらないという発言についてはショックだった。防犯対策について取り組みを決めているが、防犯対策することで施設に入りにくくなるという矛盾が生じている。地域との距離が出来てしまう。複雑な思いがあり、現在の課題としている。2つ目はパラリンピックである。4年後の東京大会まで関心が高まってくる。障害に対する関心を深めてもらえるように考えていきたい。
- (小山委員) 14地区連協では9月4日に緑区の防災訓練会場として椎名地区で実施した。社協・連協・民児協・育成会・消防団・日赤・避難所運営委員会で会

- 議を月1回重ねた。行政主体で実施したほうが良いのではないかという意見もあったが、自分たちの町の避難行動だから住民で考えることにした。車いす体験もすることにした。消防や警察も協力してもらい約300名の参加だった。10月1日に防犯活動として約30名の参加で警察の講習を受けて地元のパトロールも行った。町内の危険個所をチェックして歩いた。
- (岡本委員長) 押元委員にお伺いしたい。あんしんケアセンター菅田では戸別訪問の話があったが、具体的にどのような形で行ったのか教えてほしい。
- (押元委員) まだ2箇所しか実施していないが、職員4人でまわれる範囲で実施した。奈木台町内会地区と菅田第2団地の高齢者宅をまわった。あんしんケアセンターのパンフレットをもってアンケートを行った。また菅田第1団地の役員会合でも承認を貰い、来月まわることにしている。どの町内会についても事前に町内会長の承諾を貰うことにしている。戸別訪問するときは、2人1組で身分証を持参してまわるようにしている。菅田第2団地の会長さんからは、団地内のイベントをしても毎回5人くらいしか集まらないという声があったので、何れ集会所で行うイベントについても相談していきたい。
- (北浦委員) 5月の地域ケア会議で押元委員から相談されて奈木台の町内会内180人くらいの高齢者宅を民生委員として一緒にまわった。中にはあんしんケアセンターのことを知らない高齢者もいたが、アンケートで聞き取り調査をした。
- (岡本委員長) 椎名では町内会ごとにチラシを配布して相談会を実施しようとしているが、個別訪問している内容は鎌取にも考えていってもらいたい。
- (押元委員) 菅田1丁目団地ではこの戸別訪問について協力的で、事前周知を自治会がしてくれている。10月20日に行う予定でいる。
- (池田委員) とても参加になった。1軒ずつの訪問も考えたが、来られるとかえって困るという声はある。地域的に段階を経て実施していきたい。
- (田宮委員) 自殺や孤独死について、私の仕事柄よく聞くことがある。見守りでそのような方を防げるように取り組みを進めたい。

議題(2) 広報誌の承認について

主な発言内容は以下のとおり。

- (中村和委員) 広報部会で原稿を作り最終案を提示したい。本日承認してもらえれば11月中旬までには発行したい。

グループワーク

テーマ：地区部会ごとの重点取組項目における「今後の課題」について4地区に分かれてグループワークを行った。

主な発言内容は以下のとおり。

- (誉田地区) 誉田地区で話し合った課題や原因について報告したい。まず見守り活動については、地域内で何気ない見守りはできるが、改めて組織化すると少し堅苦しくなり遠慮がでる傾向がある。最近は自治会に入らない人がいて組織率が下がっている。原因は役員を引き受けたくないことや高齢化である。役員が1年交代なので話が途切れてしまうといったこともある。そのような中で、高齢者は役員をやらなくてもいい自治会があったり、宝くじとか寄付してくれる団体を活用したり、何かあった時はご近所パワーを活用したりといった意見が出た。また青パトをもっと利用し、狭い路地にも入っていってもらい、見守りのポイントをアナウンスしていくのも重要である。これは高齢者や障害者だけではなく、全住民を対象にしていく意識でアナウンスしていく。仕事をリタイヤした人で運転が好きな人は講習を受けてもらい地域内の人材を活用していけばいいという意見も出た。
- (土気地区) 土気地区では、見守り活動が広がっていない現状と原因について意見が出た。主だった意見としては、見守り活動自体への遠慮や拒否感がある、見守り活動を知らない人がいる、空き家があって近所づきあいが少ない、担い手がいない、自然に近所で見守りが出来ているので組織は必要としていない、世帯数が少ない自治会では民生委員が掛け持ちで見ているので自治会長と民生委員の交流がないであった。
- (椎名地区) 椎名地区では、3点について報告したい。①福祉教育については、車いすバスケの選手を呼ぶ企画があがっている。また防災訓練で車いすを入れて障害者対応を考えているが、そもそも小学校にバリアフリー設備ができていない現状がある。また地域内に中学校がないため、小学校でのつながりが切れてしまう課題がある。②見守り活動や防犯パトロールは地区ごとに進めているが、経費が掛かる部分は課題になっている。③誉田地区でも出たとおり、町内会の加入率が高いところではいいが、加入率が低いところは敬老会のお知らせも回らない課題がある。見守り活動自体も広がっていかない。しかし福祉が必要な人は町内会に入っていないような人なのでそのあたりも課題になっている。
- (おゆみ野地区) おゆみ野地区では、若い世代が多いので活動のPR方法も工夫し、地域内の無料情報誌に載せている。おゆみ野地区の課題は地区部会だけで解決できるものではないので各団体と連携していく必要がある。核家族や若い世代が多い地区なので子育ての悩みを抱えている世帯が多い。次期重点項目はそのあたりにも着手していく必要を感じている。

連絡事項

- (事務局) 第3回は12月17日(土)午後2時からこの会場で開催する。本日の会議終了後に広報委員会を開催するので広報委員は残ってほしい。

委員長が閉会を宣し、第2回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。